

日 時:2023 年 1 月 24 日(火曜日)18:00~19:15

会 場:リモート (Zoom 関西委員会)

<人名:敬称略、順不同>

出 席:嶋、渡辺、下村、及川、平田、小林(義)、小林(浩)、島田、橋本、北島、春日、崎尾、堤、清水、
中村、中山、今田 (17 名)

欠席委任:加藤、高畑、小谷、岡、野田、成田、竹内、鈴木、(8 名)

欠 席:山本、友滝(2 名)

<出席者:名簿総数 27 名、出席 17 名、委任 8 名で理事会成立、決議は出席者 6 名の賛成で過半数可決>

議 事:議事進行は前回に引き続き事務局今田が進行

議事録添付資料:理事会で使用したPPTに会議結果を追記した資料

※本議事録は会員専用のホームページにアップされますので、概要を理解いただくために理事会で使用した
説明資料の PPT の内容と重複する記述がありますが、ご了承下さい。

<議事内容>

(1)第34回専士会総会への準備と資料作成依頼

【検討日程】

- 2月1日 各委員会の実績・予算／計画の検討開始(2月末まで)
- 2月28日 パワーポイントへのまとめと関係者間調整開始(3月20日まで)
- 3月20日 理事会前調整(3月25日まで)
- 3月28日 第5回理事会開催 総会必要事項の確認と決済
以後、総会に向けて資料作成、連絡、出欠など
- 5月23日 第34回定時総会 5月23日(火)

※総会内容は活動実績、活動計画、決算実績/予算計画、役員/理事人員等。

※事務局より必要事項の資料作成を各委員長に依頼するので、各委員会で実績／計画等、話し合っ
て、2月末までに返送いただく。

(2)委員会活動報告～前理事会から本日までの期間について (PPT 資料参照)

各委員長(または副委員長)より直近3ヶ月の活動を報告いただいた。特筆すべき点のみ以下に記述。

【セミナー委員会】及川委員長

- ・11/24(木)日本食品包装協会主催『Next Package 展』に包装専士会のブース出展を行った。
展示内容の報告は『包装技術 1月号』日本包装専士会掲載ページにて実施済み。
- ・2023年度も開催される見込みなので、なにか協力することになると思う。

【情報委員会】兼)今田委員長

- ・JPI「包装技術」各委員会の協力を得て、2月号までの最終原稿を JPI に入稿済み。
- ・3月号以降の計画を作成。11月の理事会にて了承されたが、その後、CLOMA から未来包装研究委員会に講演依頼があり、1/12講演実施後、「包装技術」3月号に掲載することに変更した。

【展示委員会】 下村委員長

- ・特になし。

【関西委員会】 平田委員長

- ・次回理事会 2月8日(水) 通常理事会 ミニセミナーも開催
ミニセミナー講師は専士会清水理事。演題は「開発営業の四方山話」
- ・決算理事会 3月15日(水) 今年度活動報告、決算/会計監査、来年度活動計画、予算、役員改選
- ・セミナー講師報酬について専士会所属講師には5,000円、外部講師には10,000円を支払うことを決定。

【未来包装研究委員会】 島田委員長

- ・第4回 CLOMA 技術セミナーが2023年1月12日(木)午後にweb開催され、16:00~16:45の枠にて、「より良い包装未来の姿と生活者起点の協業・協働について ~欧米動向を参考に~」というお題で講演、(最大)304名の聴講者(CLOMA会員)にお聞き頂いた。
- ・「生活者がどうやってリサイクルに出すか」コミュニケーションツールとなる「On-Pack Labelling」を主題として、かつ、最近の欧米の規制等の動向を加え、講演内容及び資料内容を固めた。
- ・引用資料については、Mintel Japan 社、並びに講談社に事前承諾を得た。
- ・講演後、日清食品ホールディングス(株)の方(包装専士会員)より未来包装研究委員会への参加希望あり。

(3)理事動向

- ・任期延長対象者について(会則第11条)

以下の3名について、本人より任期延長(2年)の申し出があり、本理事会出席者満場一致で承認された。

清水 太一 (関西委員会) 今田 克己 (事務局長) 小林 浩一 (展示委員会)

参考)会則第11条についてはHPに訂正、掲載したので参照下さい。

- ・理事、役員の変更について、変更のある方は連絡をお願いします。

加藤理事・・・所属会社定年退職により後任高橋裕美氏に。3月理事会に紹介予定。(1/26 連絡あり)

(4)包装専士会会員増強について

2022年度は8名の入会があった。うち専士講座修了者は6名。以下の対応を2023年度も継続する。

- ・初年度の年会費、入会費を無料とした。(専士講座修了者対象)
- ・関西委員会主催のミニセミナーがWeb開催の場合、新入会員に案内した。(新入会員対象)
- ・ホームページの改訂が進み、活動や情報を共有しつつある。(専士会全体対象)

※今年も包装専士講座合格証書授与式に参列し、包装専士会の紹介を行なう。(3月24日予定)

(5)ホームページについて

- ・専士会のホームページで会長の氏名や所在地(郵送等の受け取り)が記載されていない。掲載したらどうか。技術士包装物流会などは明記してある。(下村副会長)

⇒確かにHPには記載が無いが、現状所在地はJPI内になっており、郵送物などが届いている。

不定期ではあるが、保管場所に取りに行くか、JPIから会長宛に転送いただいている。

今後については会長と相談。

- ・包装タイムスで東京パック2022専士会の展示、講演、ディスカッションが2ページにまとめられた。発行元の了解が必要であるが、HPにアップできると思う。(橋本理事) ~1/26日報ビジネス社了解。

※掲載内容を概略決めて、示していただければ、アンサングに見積りを取ることは可能。(堤委員長)

(6) JPIとの関係をさらに密にしていくことが必要ではないか。(及川副会長)

- ・包装専士合格証書授与式に出席して、専士会の紹介、入会勧誘が2022年3月より再開している。2023年もその予定でJPIと調整している。(嶋会長)
 - ・包装専士会理事で個人レベルではあるが、包装管理士講座の講師を務めているメンバーがいる。(事務局)
 - ・過去には包装専士講座の講師を専士会理事が務めたことがある。このような交流はよい方向と思う。
- (及川副会長)

※日本包装専士会はJPIの傘下団体でもあり、より一層の関係性を深めていく事を確認した。

(7) その他特記事項

- ・包装専士会理事会理事への就任、並びに委員会メンバーの参加基準や合意形成方法について、決める必要がある。(島田副会長)
- ・理事会(総会)の開催方式についての検討。(Web or Hybrid or 対面 or ……)
⇒今年に入ってオミクロン株XBBグリフォンの新規感染者が急激に減少に転じている。政府のコロナ規制変更もにらんで検討したらどうか。(事務局)
- ・役員の業務分担内容の見直し。特になければ2023年度も継続)
- ・2023年度包装技術セミナーの開催について議論が必要。(開催 or Webinar or 見送り)
- ・理事会は原則奇数月の第3火曜日に開催することを継続する。(60分)
- ・会則/役員選任規程の見直しをするかどうか(会則では2年に1回)

以上